

科目名	技術経営論入門A			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	4月7日～6月2日			
	英文科目名	Introduction to Management of Technology A		モバイル配信授業 —	開講時間	火曜日 第6講時 18:10～19:40			
受講定員等	担当教員	木綿 隆弘, 川上 文清, 田中 一郎 西山 貞雄, 紙本 伸明, 森本 章治			eラーニング —	開講場所	金沢大学 角間キャンパス 自然科学本館 大講義棟1階 AV 講義室		
	単位数	1単位			成績評価の方法	◆講師毎にレポートで評価を受けます。 ◆コーディネーターは各講師の評価を総合して成績判定を行います。			
定員数	180名								
特別聴講学生等定員									
科目等履修生定員									
シティカレッジ聴講生定員				定員超過時の選考方法等					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	5,000円
科目の内容	<p>本講義は、技術経営(MOT)とは何か、その必要性、その背景、構成する基礎分野、応用など事例紹介を交えて興味深く紹介し、技術経営学を学ぶ動機付けになることを目指します。以下の4つの項目について、2週ずつ講義を行います。</p> <p>(1)「概論」(川上): MOTとは何か、科学と技術の違い、研究と開発の違いを解説する。更に企業とは何か、企業での研究・開発・事業化・産業化の流れとそのマネジメント、財務諸表の見方について概説する。また、技術系の学生が企業で働くための基礎知識として、損益分岐点分析、知的財産権の基礎、法令順守(コンプライアンス)について概説する。</p> <p>(2)「科学技術政策と先端科学研究・技術動向、最近の技術史」(田中): なぜ1990年代に米国に敗れたか。我が国の製造業の特徴を考察し、諸外国との競合関係の中でどのような変容を遂げてきたか、事例を挙げて論じ、今後どのような戦略を採用すべきかについて考える。</p> <p>(3)「開発計画の事例」(西山): アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。</p> <p>(4)「品質評価と企業の危機管理概論」(紙本): 1個の品質クレームが、企業の存続を左右するほど大きな事件になっている。技術者として如何に確かな品質を持った製品を設計するか、経営者はどのように危機管理に備えるか等々について述べる。また、品質管理技術一般、企業における技術者倫理についても触れる。</p>							その他特記事項	
	授業担当教員紹介				URL	https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=2273			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp				